KDDI Smart Mobile Safety Manager
バージョンアップマニュアル

最終更新日　2025 年 4 月 17 日

Document ver.1.4

（Web サイト ver.9.21.2）

変更履歴

日付	ver	変更箇所	変更内容
2018/12/13	1.0		新規作成
2019/12/24	1.1	1.3 エージェントを再インストールする場合	【1】注記修正
2021/7/25	1.2	1.3 エージェントを再インストールする場合	OS バージョンの記載統一
		3.2 App Manager 非表示に設定の場合	
		全体	Windows 10 Mobile を削除
2022/11/20	1.3	はじめに	全体的に修正
		全体	［目次］に戻るボタン追加 章表紙修正
2023/8/6	1.4	はじめに	名称・呼称、用語集を追加 商標登録修正

はじめに

本マニュアルでは、KDDI Smart Mobile Safety Manager（以下、本製品と呼ぶ）の操作ほか、各機能の概要、画面の説明、設定操作について説明しています。

また、要点となる各種の内容を以下に記載しています。これらの内容をご理解のうえ、マニュアルをお読みください。

名称・呼称

本マニュアルに登場する特定の企業、人について、以下の定義で記載しています。

名称	説明
サービス企業	本製品を提供する企業。
管理者	本製品の管理サイト（機器の管理・運用を行う Web サイト）を運用する者。
端末使用者	本製品で管理している端末を使用する者。
システム管理者	企業の社内システム（サーバー・インフラなど）を管理する者。

注意・ポイントマーク

操作を行う場合に注意する点や、操作のポイントとなる点を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	データの破損や消失など、特に注意していただきたい内容を記載しています。
	操作のポイントや知っておくと便利な内容を記載しています。

記号

画面に表示されるボタンやメニュー、キーボードのキーなどを示す場合は、以下の記号で記載しています。

マーク	説明
［ ］	ボタン、メニュー、タブ、リンク、チェックボックス、ラジオボタンなどの名称を示しています。
「 」	画面名、機能名、項目名、マニュアル内の参照先などを示しています。
『 』	マニュアルや資料などの名称を示しています。
〈 〉	キーボードなどのハードキー名称（スペースキーは〈スペース〉と表記）を示しています。

参照マーク

他のマニュアルや他のページへなどの参照を示す場合は、以下のマークで記載しています。

マーク	説明
	他のページや Web サイトへの参照を示しています。クリックすると該当箇所にジャンプします。
	セクション内の画面への参照を示しています。クリックすると該当の画面にジャンプします。
	他のマニュアルや資料への参照を示しています。

用語集

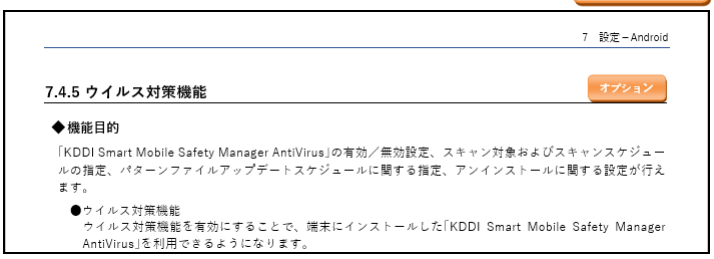
不明な用語については、『よくあるご質問（FAQ）』を参照してください。

☞ https://smsmfaq.smartmanager.jp/kddiproduct/ausl/web/knowledgeList.html?keyword=%E7%94%A8%E8%AA%9E%E9%9B%86%E4%B8%80%E8%A6%A7&searchMethod=0&searchCondition=0&searchCategory=1&searchItem=1&searchTag=1

オプション機能

オプション機能は、オプション契約をした場合に使用できる機能です。

本マニュアルでは、オプション機能の説明の見出しに オプション（オプションマーク）を表示しています。



免責事項

●本マニュアルは、ユーザー種別が［管理者］のユーザーを対象としています。［管理者］以外のユーザー種別でログインした場合は、操作が制限されます。

●iPad OS の操作は iOS と同様です。差異がある場合は iPad OS 用の記載をしています。

●画面上のバージョン表記は、実際の表示と異なる場合があります。

●本マニュアルに記載されている Web サイトの URL は、予告なく変更される場合があります。

●OS のバージョンやブラウザーにより、一部の画面や操作が異なる場合があります。本マニュアルでは、Google Chrome を例に説明しています。

商標登録

●Apple、iPad、iPadOS、iPhone、Mac、macOS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。

●iOS は、Apple Inc.の OS 名称です。
IOS は、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

●iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

●App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。

●Android、Google Chrome、Google Cloud、Google マップ、Google Play、Google Workspace は、Google LLC の商標です。

●Microsoft、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

●Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

●その他記載の会社名、製品名は、各社の登録商標および商標です。

目次

1 Android エージェントをバージョンアップする 6
1.1 ストア版の場合 7
1.2 アプリケーション配信機能を利用する場合 7
1.3 エージェントを再インストールする場合 10
1.4 App Manager を利用する場合 12
1.5 バージョンアップ確認方法 13
1.5.1 Android エージェントから確認する場合 13
1.5.2 管理サイトから確認する場合 13

2 iOS エージェントをバージョンアップする 14
2.1 アプリケーション配信機能を利用する場合 15
2.2 App Store から手動でアップデートする場合 18
2.3 バージョンアップ確認方法 19
2.3.1 iOS エージェントから確認する場合 19
2.3.2 管理サイトから確認する場合 20

3 ウイルス対策ソフトをバージョンアップする 21
3.1 ストア版の場合 22
3.2 App Manager 非表示に設定の場合 22
3.3 App Manager 表示する設定の場合 25

1 Android エージェントをバージョンアップする

Android エージェントは、以下の場合にバージョンアップいただく必要があります。

●新たなデバイスの OS へ対応する場合

●追加された機能を利用する場合

●不具合が修正された場合

Android エージェントのバージョンアップをするには、以下の 3 とおりの方法があります。

●アプリケーション配信機能を利用する

●Android エージェントを再インストールする

●App Manager を利用する場合

いずれかの方法で Android エージェントのバージョンアップを行ってください。

アップデート時にエージェントの再認証は必要ありません。

1.1 ストア版の場合

ストア版エージェントをご利用の場合は、端末にバージョンアップ通知が配信されますので、手順にしたがってアップデートをおこなってください。

1.2 アプリケーション配信機能を利用する場合

管理サイトで App Manager を非表示に設定している場合は、アプリケーション配信機能によって、エージェントを配信し、アップデートを行えます。

App Manager を表示する設定の場合は、アプリケーション配信でのエージェントがアップデートは行えませんので、App Manager によるアップデートをご利用ください。詳細については以下を参照してください。

☞「App Manager を利用する場合」12 ページ

【1】管理サイトの URL を確認します。

⇒ログイン画面のアドレス（URL）から login を除いたものを書きとめておきます。手順【2】の URL の入力で必要になります。

https://ausl.smartmanager.jp/

【2】管理サイト上でアプリケーション配信の設定セットを作成します。

設定名：お好きなものを入力してください。
アプリケーション名：お好きなものを入力してください。
パッケージ名：jp.co.optim.bizagent
バージョン番号：xyyzzzbb
URL：https://ausl.smartmanager.jp/dist/Android/SmsmAgent-x_y_z_b.apk
バージョン情報
ver. x.y.z.b
x：メジャーバージョン
y：マイナーバージョン
z：リリースバージョン
b：ビルドバージョン
ポップアップ：ポップアップ表示が必要な場合はチェックをいれます。

エージェントがポップアップ表示に対応していないバージョンの場合、表示されません。
例）ver. 8.1.300.0 の場合
バージョン番号：80130000
apk ファイル名：SmsmAgent-8_1_300_0.apk

詳細は、以下を参照してください。

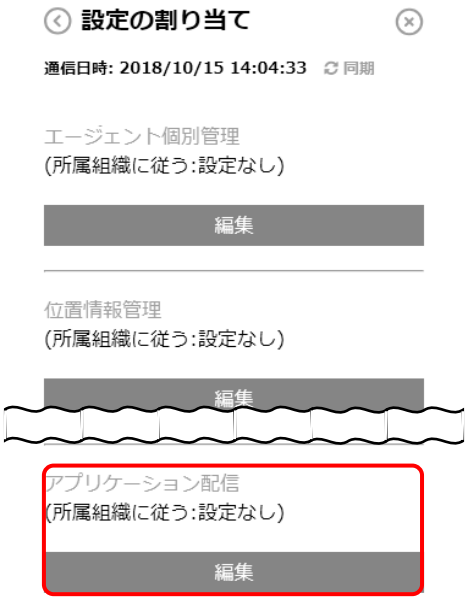
『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定－Android」－「アプリケーション」－「アプリケーション配信」

【3】手順【2】で作成した設定セットを機器に設定します。

≪機器ごとに設定を行う場合≫

設定方法の詳細は、以下を参照してください。

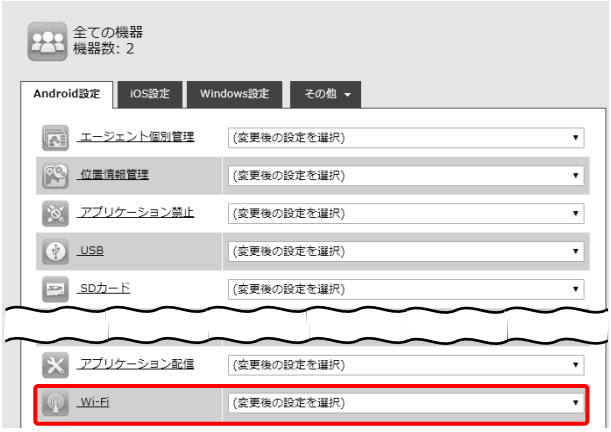
『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「一覧」－「機器の設定」－「(設定－Android) 設定の割り当て」



≪分類ごとに設定を行う場合≫

設定方法の詳細は、以下を参照してください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「全機器一括設定」－「設定セットの一括設定」



【4】指定した機器に最新のエージェントが配布されます。以下のマニュアルを参照し、インストールを行ってください。

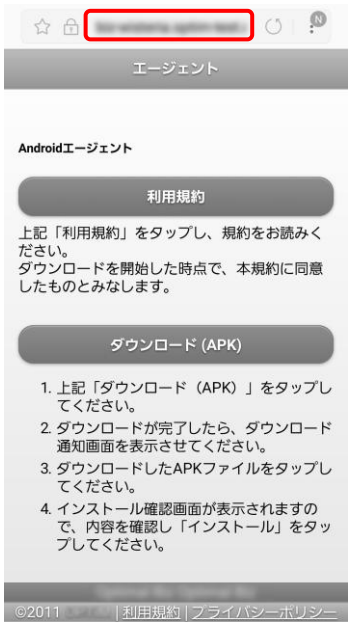
『Android クライアント リファレンスマニュアル』の「アプリケーションの配信」－「アプリケーションが配信された場合」

管理サイトからアプリケーション配信をするときに、ポップアップを表示する設定になっていない場合は、下の画面は表示されません。

1.3 エージェントを再インストールする場合

【1】ブラウザを起動し、エージェントのダウンロードサイトのアドレスを赤枠内に入力し、［実行］キーをタップします。

ダウンロードサイトのアドレスは管理者または KDDI 担当営業にお問い合わせください。

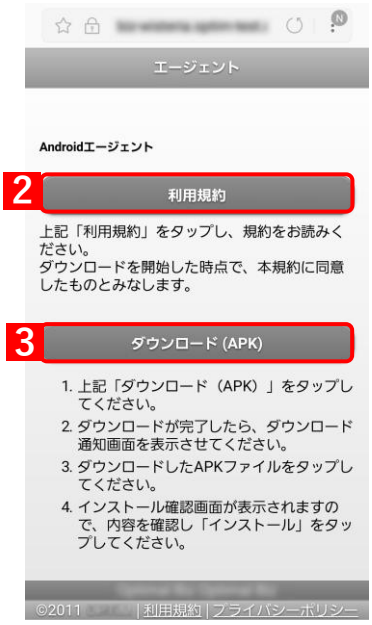


【2】［利用規約］をタップし、利用規約を確認します。

【3】［ダウンロード(APK)］をタップします。

⇒エージェントのダウンロードを行います。しばらくお待ちください。

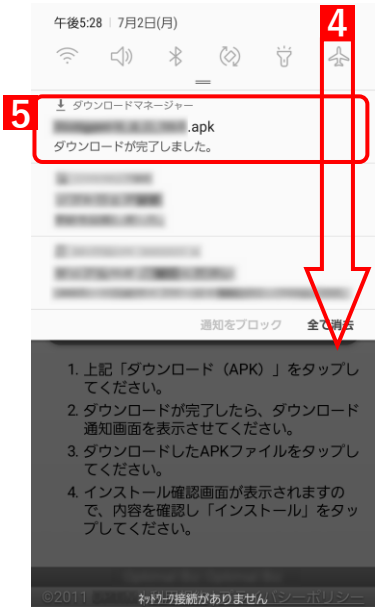
インストール時には Android 端末設定画面の「提供元不明のアプリ」にチェックを入れる必要があります。チェックを入れていない場合は、チェックを入れたあとインストールを行ってください。



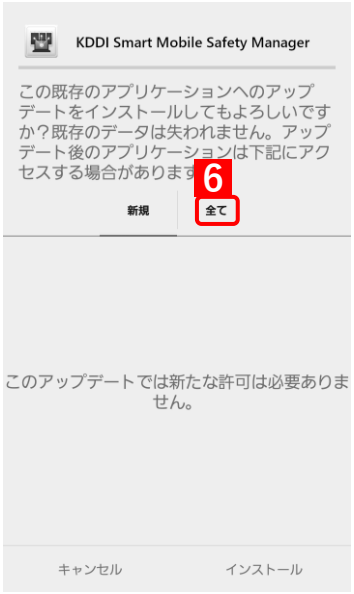
【4】画面を上から下へスライドし、ダウンロード通知画面を表示させます。

Android 3.x の端末は右下の通知をタップしてください。

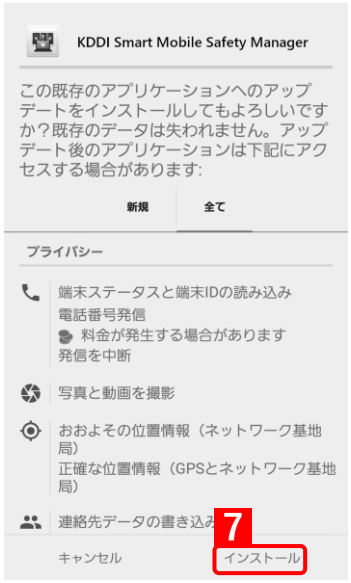
【5】ダウンロードしたエージェントをタップします。



【6】アプリケーション更新確認画面が表示されますので、内容を確認し、［全て］をタップします。



【7】インストール確認画面が表示されますので、内容を確認し、［インストール］をタップします。



【8】インストールが完了しました。

⇒［開く］または［完了］をタップします。

1.4 App Manager を利用する場合

管理サイトで App Manager を表示に設定している必要があります。

【1】メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、［App Manager］をタップします。

⇒App Manager が表示されます。

Android 機器の種類によっては、左下のメニューボタンからメニューを表示します。

【2】アップデートにあるエージェントアプリをタップします。タップ後は、画面の指示に従い、アップデートを行ってください。

1.5 バージョンアップ確認方法

1.5.1 Android エージェントから確認する場合

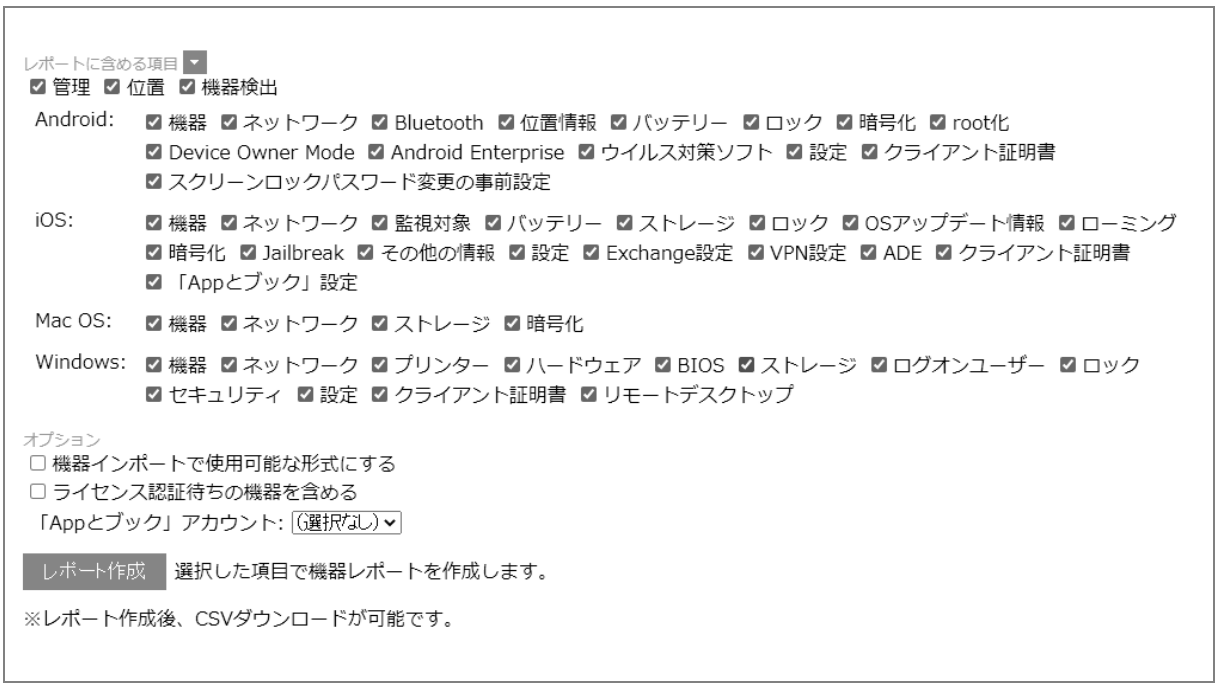
【1】画面左下にバージョンが表示されます。

1.5.2 管理サイトから確認する場合

【1】管理サイトの機器レポート（エクスポート）を実行し、エージェントバージョンをご確認ください。

詳細は、以下を参照してください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「CSV をダウンロード」－「機器レポート」



2 iOS エージェントをバージョンアップする

iOS エージェントは、以下の場合にバージョンアップ頂く必要があります。

●新たなデバイスの OS へ対応する場合

●追加された機能を利用する場合

●不具合が修正された場合

iOS エージェントのバージョンアップをするには、以下の 2 とおりの方法があります。

●アプリケーション配信機能を利用する

●App Store から手動でアップデートする

いずれかの方法で iOS エージェントのバージョンアップを行ってください。

アップデート時にエージェントの再認証は必要ありません。

2.1 アプリケーション配信機能を利用する場合

【1】管理サイト上で管理対象アプリポリシーの設定セットを作成します。

ポリシー名：お好きなものを入力してください。
VPP アプリライセンス付与：VPP を利用されている場合はチェックを入れます。
Per app VPN：Per app VPN を利用されている場合はチェックを入れます。
アプリのバージョンアップ：「自動的にバージョンアップする」に必ずチェックを入れます。

詳細は、以下を参照してください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定－iOS」－「DEP」－「管理対象アプリポリシー」

【2】管理サイト上でアプリケーション配信の設定セットを作成します。

設定名：お好きなものを入力してください。
App Store アプリ一覧
Store ID：エージェントアプリの StoreID をご入力ください。
アプリケーション名：[更新]または[保存]をクリックすると、自動的に表示されます。
管理：チェックしてください。
バックアップ：任意の設定ですので指定はございません。
ポリシー：手順【1】で作成頂いたポリシーを選択ください。

詳細は、以下を参照してください。

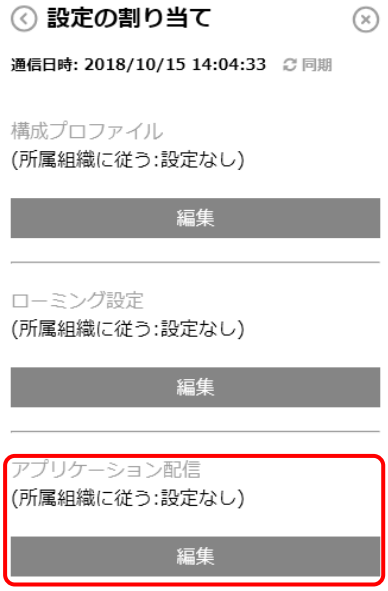
『管理サイト リファレンスマニュアル』の「設定－iOS」－「アプリケーション」－「アプリケーション配信」

【3】手順【2】で作成した設定セットを機器に設定します。

≪機器ごとに設定を行う場合≫

設定方法の詳細は、以下を参照してください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「一覧」－「機器の設定」－「(設定－iOS) 設定の割り当て」



≪分類ごとに設定を行う場合≫

設定方法の詳細は、以下を参照してください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』の「機器」－「全機器一括設定」－「設定セットの一括設定」

【4】指定した機器に最新のエージェントが配布されます。

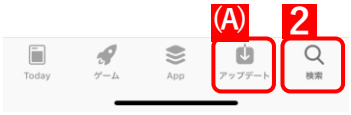
2.2 App Store から手動でアップデートする場合

【1】［App Store］を起動します。

【2】［検索］をタップします。

【3】エージェント名を検索します。

もしくは、(A)［アップデート］をタップすると、バージョンアップ対象アプリが表示されますので、エージェントのアップデートページに遷移することもできます。



【4】バージョンアップが必要な場合は、［アップデート］が表示されます。

⇒［アップデート］をタップします。

バージョンアップがない場合は、［開く］が表示されます。

2.3 バージョンアップ確認方法

2.3.1 iOS エージェントから確認する場合

【1】エージェントを起動し、［情報］をタップします。

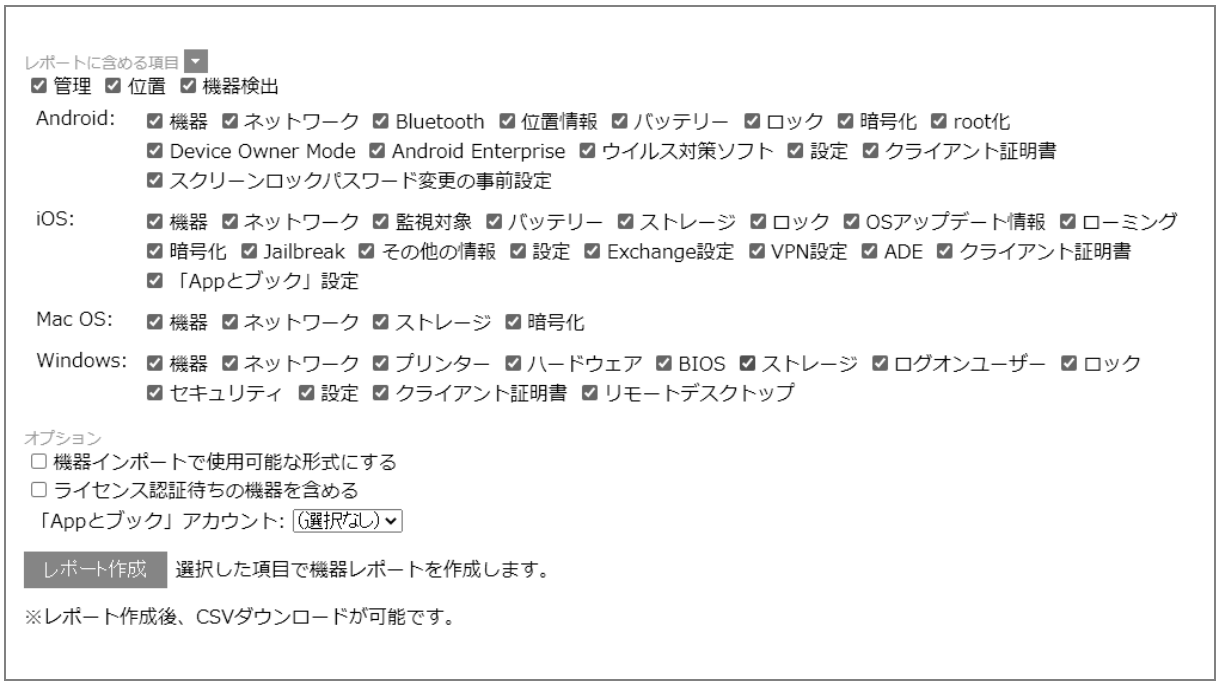
【2】バージョンが表示されます。

2.3.2 管理サイトから確認する場合

【1】管理サイトの機器レポート（エクスポート）を実行し、エージェントバージョンをご確認ください。

詳細は、以下を参照してください。

『管理サイト リファレンスマニュアル』「機器」－「CSV をダウンロード」－「機器レポート」



3 ウイルス対策ソフトをバージョンアップする

3.1 ストア版の場合

ストア版エージェントをご利用の場合は、端末にバージョンアップ通知が配信されますので、手順にしたがってアップデートをおこなってください。

3.2 App Manager 非表示に設定の場合

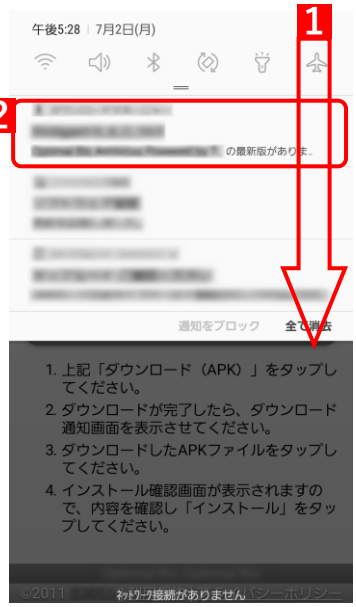
すでに Android 端末にインストールされている KDDI Smart Mobile Safety Manager から配布されたウイルス対策ソフト「Safety Manager AntiVirus」がバージョンアップされた場合、通知画面に最新版がある旨の表示がされますので、下記の手順に従って、バージョンアップを行ってください。

以下、ウイルス対策ソフトと記載します。

【1】画面を上から下へスライドし、通知画面を表示させます。

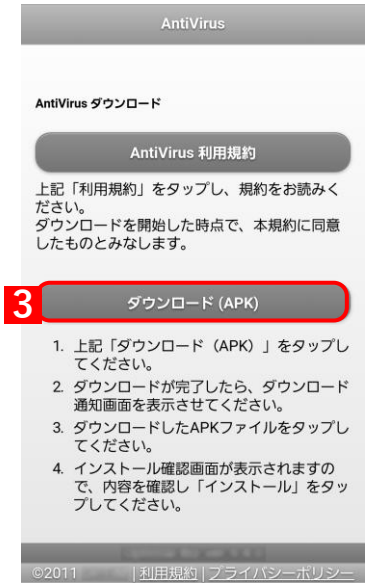
Android 3.x の端末は右下の通知をタップしてください。

【2】「最新版があります」と表示された［Safety Manager AntiVirus］をタップします。



【3】［ダウンロード(APK)］をタップします。

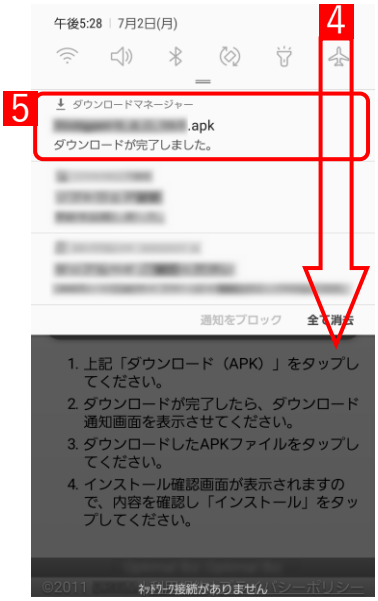
⇒エージェントのダウンロードを行います。しばらくお待ちください。



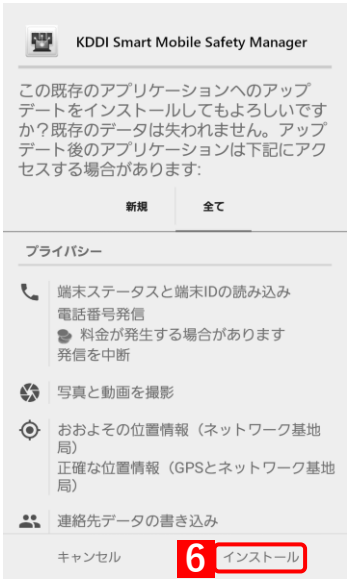
【4】画面を上から下へスライドし、通知画面を表示させます。

Android 3.x の端末は右下の通知をタップしてください。

【5】ダウンロードしたウイルス対策ソフトをタップします。



【6】インストール確認画面が表示されますので、内容を確認し、［インストール］をタップします。



【7】インストールしています。しばらくお待ちください。

【8】インストールが完了しました。

⇒［開く］または［完了］をタップします。

3.3 App Manager 表示する設定の場合

【1】メニュー画面で、メニューボタンを押してオプションメニューを表示し、［App Manager］をタップします。

Android 機器の種類によっては、左下のメニューボタンからメニューを表示します。

【2】App Manager が表示されます。

【3】アップデートにあるウイルス対策ソフトをタップします。

⇒タップ後は、画面の指示に従い、アップデートを行ってください。